

## 様式 2

### 平成24年度第1回安曇野市児童館・児童クラブ運営委員会 会議概要

- 1 審議会名 児童館・児童クラブ運営委員会
- 2 日 時 平成24年6月29日 午後3時から午後5時00分まで
- 3 会 場 穂高健康支援センター
- 4 出席者 宮下委員、直井委員、松澤委員、篠部委員、渡辺委員代理、一志委員、福田委員、相内委員  
小沢委員、柴委員、宮澤委員、丸山委員、鶴田委員、三原委員、荒深委員、小川原委員
- 5 市側出席者 飯沼部長、臼井児童保育課長、浅川児童係長、百瀬主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成23年7月9日

#### 協 議 事 項 等

##### 1 会議の概要

###### ○委嘱書の交付

飯沼部長委嘱書の交付 7名（直井委員、篠部委員、渡辺委員、宮島委員、相内委員  
柴委員、荒深委員）

- (1) 開会
- (2) あいさつ 健康福祉部長、会長
- (3) 委員紹介
- (4) 会議事項
  - ① 児童館・児童クラブ運営委員の任務について
  - ② 児童館条例の改正について
  - ③ 児童館・児童クラブ事業について
  - ④ アンケート結果の公表について
- (5) その他
- (6) 閉会

部 長：児童クラブという制度が始まってずっと3年生までということできていました。親御さんの要求が6年生まで利用したいとありましたので、平成22年度から4年生まで引き上げました。今後5,6年生へという話が出てくると思われれます。もう一つ児童館という施設があります。高校生まで含めて、みんなで遊んだり先輩の話を聞いたりできる、そういうところが児童館だと思います。本来の意味で利用してもらう、これが子どもたちの自主性、自立、主体性が培われると考えています。こういう観点からいろんな形に直していかなくてはならないと思います。もう一点は教育委員会との連携です。放課後子ども教室と児童クラブとは何が異なるのだろうと思っています。子どもの居場所というところでは同じであると、居場所は多ければ多いほど選択肢が広がります。子どもたちが自分で選び、半分自分の責任、半分は親と行政の責任といったところでやっていくのがよいと思います。公費を使う話ですので、最小の経費で最大の効果を求めていきたいと考えています。運営委員会の中で安曇野市の方向性を示していただければと思います。（和式トイレとそしゃく力の関係について触れる。）

会 長：昨年からの2年間の続きということで務めさせていただいています。主任児童委員をしていますので、このことにもかかわりがありまして、それぞれの皆様から願いや今のお話にもありましたように子どもたちのあり方について考えさせられるわけがございます。皆様のご協力をいただいで進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

### 3 委員紹介

#### 2 会議概要

会 長：児童館・児童クラブ運営委員の任務について説明をお願いします。

係 長：児童館・児童クラブ運営委員の任務について説明します。

～ 設置要綱により説明 ～

会 長：任務について何かご質問はありますか。よろしいでしょうか。それでは児童館条例の改正について説明をお願いします。

事務局：児童館条例の改正について説明。大きく変わったところは、第3条です。

25年度から全ての児童館を指定管理者に管理させることを条例で定めています。

24年度で豊科、穂高地域の児童館については、指定管理が切れます。これから9館の指定管理を進めていく関係で改正いたしました。

会 長：質問はありますか。よろしいでしょうか。3児童館・児童クラブ事業について説明をお願いします。

事務局：児童館・児童クラブ事業について説明。児童館事業一覧について厚生員から説明をしていただく。

会 長：質問はございますか。よろしいですか。4「アンケート結果の公表について」に移ります。

事務局：アンケート結果の公表について説明

会 長：質問、ご意見はございますか。

委 員：円グラフの数字の意味を分かりやすくしてもらいたい。

事務局：はい。

部 長：子どもの意見はありますか。使っているのは子どもです。

事務局：就園前のお子さん連れの保護者を対象にアンケートを取りました。子育て支援のみです。

会 長：就園前の親御さんのご意見だと明確にした方が良いですね。公表はいつの予定ですか。

事務局：7月上旬と思いましたが、修正してから公表するように致します。

委 員：小学校の実情をお話しします。今年の1年生で和式のトイレで用が足せない子が数名おりました。洋式しかしたことがないとのことでした。他校でもできないということがありました。

和式で踏ん張ることがそしゃく力にもつながるということに気づかせていただきました。

事務局：児童館・児童クラブの方向性について説明

21年に作成しまして、3年ほど経過しています。今後全館指定管理にする方向で進めております。この方向性の中で現状とそぐわないところがありますので、次回の委員会でご協議いただきたいと思います。背景・現状については年度ごと変わりますので、私どもで考えていきますが、3ページですが、2.今後の方向性というところが、この冊子の主題でございます。ご一読いただきご検討いただきたいと思います。ご意見をいただきたいと思います。

7ページのアンケートについてですが、今年度のどこかで、小学校の児童や親御さんを対象としたアンケートをとりたいと考えています。次回お示しいたしますので、お話しをお聞かせいただきたいと思います。

今年の2月から豊科地域児童館建設検討会について、これまで6回開きました。

豊科地域の中央児童館と高家児童館について老朽化が激しいため建設計画がございませぬ。児童館のあり方についてご審議いただきました。

検討結果としまして、児童館・児童クラブの方向性の3ページのところで、下線のところとですが、将来的には児童クラブ事業は児童館と切り離して、児童クラブはすべて小学校の施設または隣接した場所に設置していく方向で行きたいと考えます。これを受けまして、検討結果としまして、児童館と児童クラブを切り離し、子育て支援の充実と、遊び場の確保、放課後の児童の安全な居場所の確保が必要であると考えます。ついては、以下の2点を検討結果として報告いたします。

①児童館と児童クラブを完全に切り離し、子育て支援や自由来館を主体とする児童館及び、児童クラブを主体とする児童クラブ室をそれぞれ建設する。

②豊科中央児童館と高家児童館は統合する。

検討会での検討結果でございます。そういう方向で報告をしていきたいと考えています。次回の時には、市長に提出したものをお示しできると思います。

児童館・児童クラブの方向性を決めていただいていたために、今回の結果も同じように導かれたと考えております。方向性について今後ご審議いただき安曇野市の児童館・児童クラブ、子育て支援の方針として打ち出していきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

部長：児童館の立て直し、改築は事業が差し迫っています。施設をどうするのか、どういうやり方が良いのか。子どもにとってどういう状態が良いのか。親の安心をどう担保するのか。そういったところを総合的に考えてありようとして一番子どもにとっても親にとっても良いのか、財政としても良いのか、検討をいただきたいと思えます。一番効果的な方法を委員の皆様方にご審議いただきたいです。

児童館・児童クラブの方向性を元にもう一度、熱い議論をしていただき、市としての方向性を出していただきますようお願いいたします。

委員：資料の数字のことについてお聞きしたいです。安曇野市の小学校の児童数の推計が出ていますが、これが作られたのが平成21年度ですので、実際はだいぶ違ってきていますので、新しい数字で作りなおした方が良いと思います。

会長：児童館・児童クラブの方向性を読んでいただいて、ご意見をいただきたいです。

事務局：日程を調整して、早めに次回の会議をお知らせいたします。

職務代理：第1回の児童館・児童クラブ運営委員会を終わります。